

SANUS®

LT25壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 79kg 以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

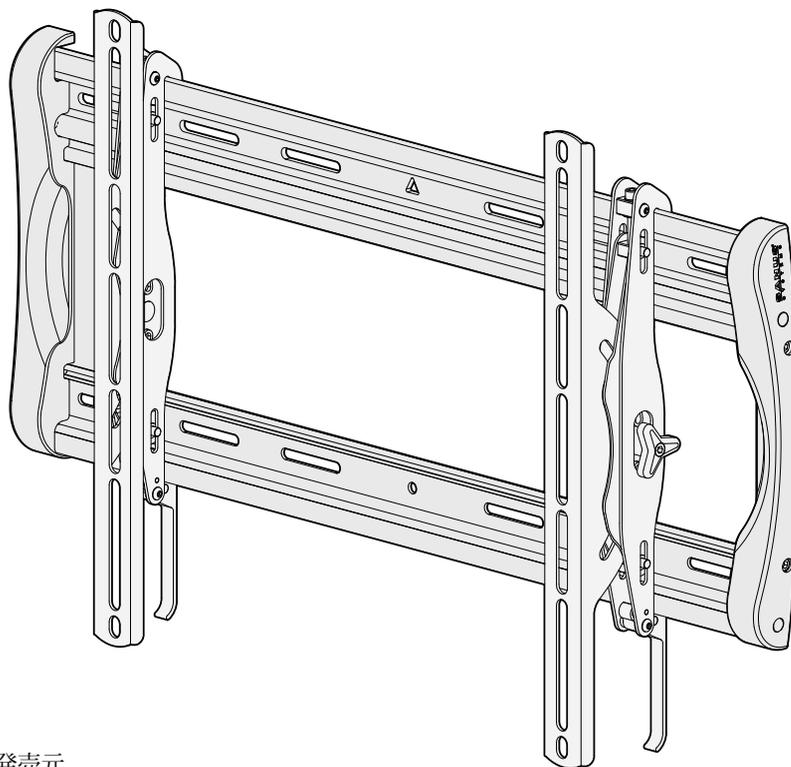
この度は、LT25の壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
LT25は37V型～90V型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒557-0045 大阪市西成区玉出西2丁目16-3

ネットワークジャパン株式会社 TEL 06-6105-0707 / FAX 06-6105-0708

<http://www.network-jpn.com/> E-mail : info@network-jpn.com

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。LT25 壁掛金具は、37V 型～90V 型で、総重量 79kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。

これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。

又、木製やコンクリート以外の(鉄骨製などの)壁面には取り付け出来ません。

この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。

専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。

強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。

強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。

又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。

テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。

又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。

足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン(株)に連絡して下さい。

尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



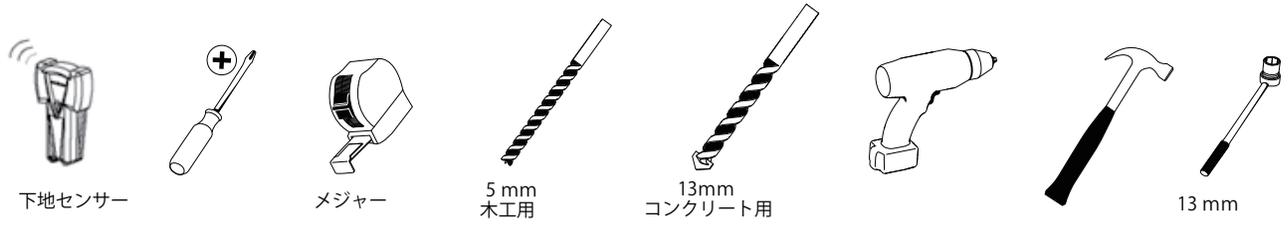
壁掛金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン(株)は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類

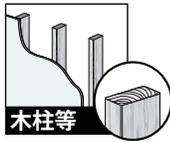


仕様

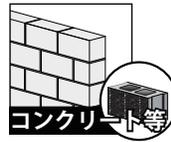
耐荷重 : 79kg (テレビと付属品を含みます) 適用テレビサイズ : 37V 型 ~ 90V 型
 ティルト調整 : -10° +8° ※上記を超過しないようにして下さい。

取付可能な壁面

※下記は一例です。実際の施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。



★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm 以上が必要です。
 ★ しっかりとした柱に固定された、厚さ 20mm 以上の構造合板など



★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。
 ★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。
 (空洞や隙間のあるブロックには使用できません。)

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意して下さい。

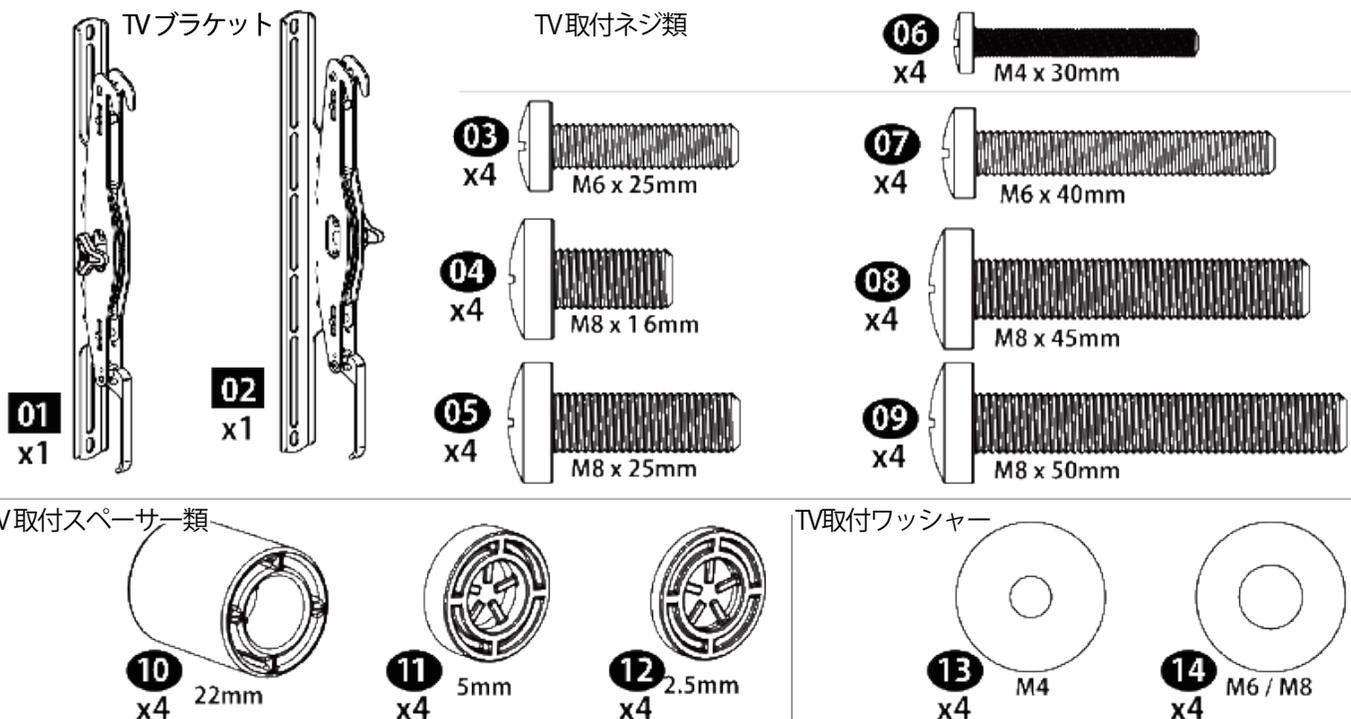
- ★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。
- ★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の 5 倍を支えられなければなりません。
- ★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン (株) 又は認定業者にお問い合わせください。
- ★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

STEP 1 で使用する部品类

警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

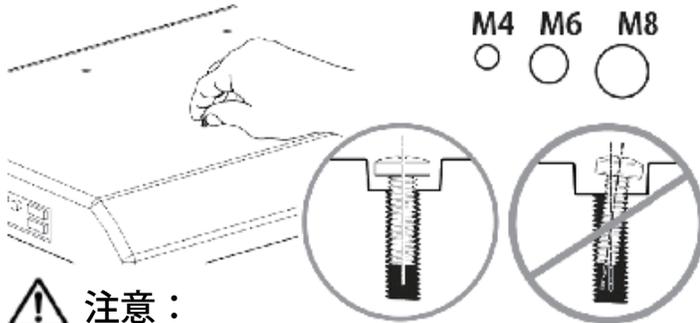
注記 : M4、M5、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の部品をすべてを使用するわけではありません。



STEP 1 ブラケットをテレビに取り付ける

1-1 テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

お使いのテレビの形状によって、使用する部品が決まります。テレビの背面のネジ穴に手でネジを入れて、適合する正しいネジの直径 (M4、M5、M6 又は M8) を見つけます。



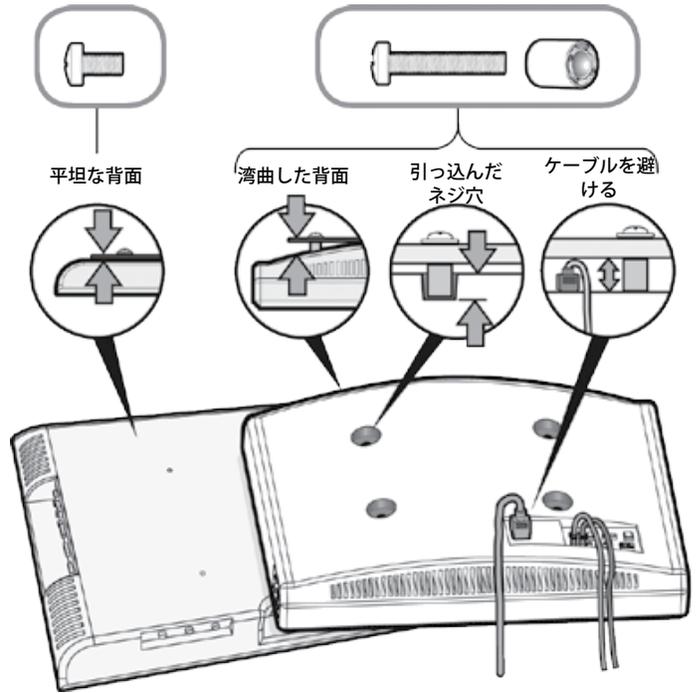
⚠ 注意：

必ずネジ穴に手でねじ込んでみて、適合するネジ山の確認とねじ込める長さを確認してください。ネジ山が合わなかったり、必要な長さに対して短か過ぎるネジはテレビを十分保持できず、長すぎるネジはテレビの内部に損傷を与える恐れがあります。



1-2 スペーサーの取付位置

下図の取付方法を確認し、テレビの状況にあった長さのスペーサーを選択してください。(TV 背面の形状や状況により、TV ブラケット取付時のスペーサーの長さや位置を選択します。)

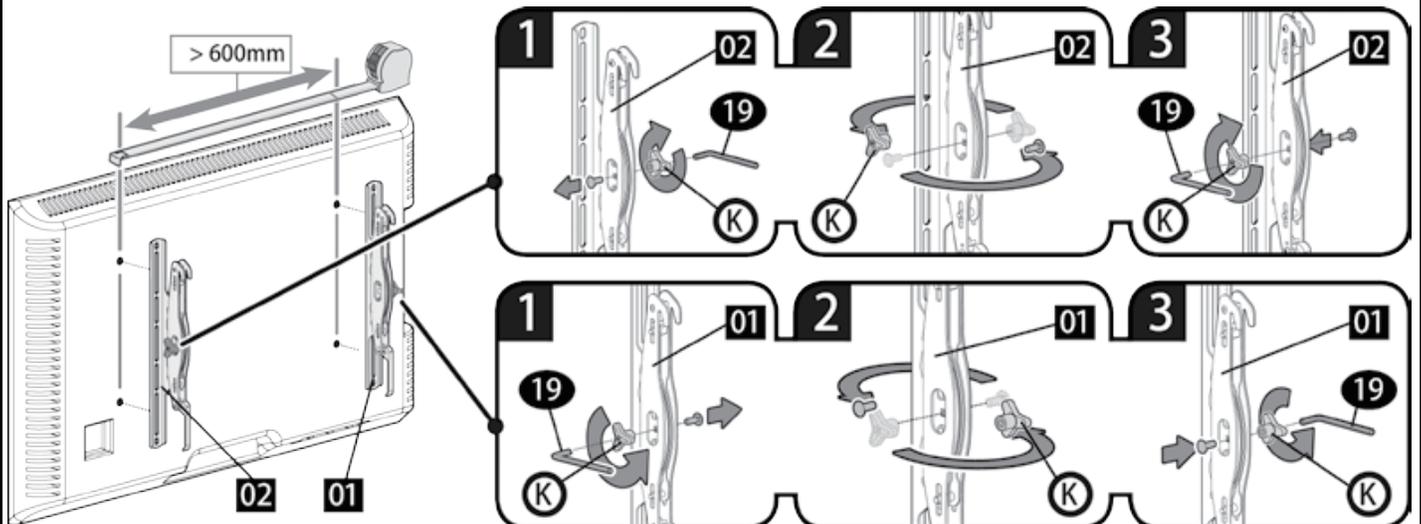


【テレビの取付穴ポジションが幅601mm以上の場合のみ行ってください：TVブラケットの調整】

テレビの背面の壁掛金具用取付用のネジ穴の幅が 601mm 以上 699mm までのテレビにこの金具を取付ける場合は、下記のように TV ブラケット [01][02] のノブを付け替え、TV ブラケット [01][02] の左右を入れ替えてご利用ください。

テレビの背面の壁掛金具用取付用のネジ穴の幅が 600mm 以下のテレビの場合にはこの作業は必要ありません。

1. TV ブラケット [01][02] のノブ [K] を六角レンチ [19] を用いてブラケットから取り外します。
2. ノブ [K] の位置を左右に付け替えます。
3. 六角レンチ [19] を用いてノブ [K] をしっかり取付けます。

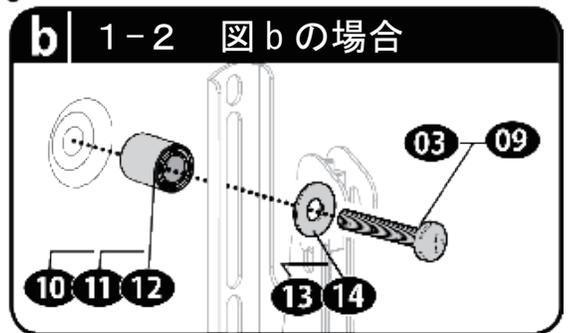
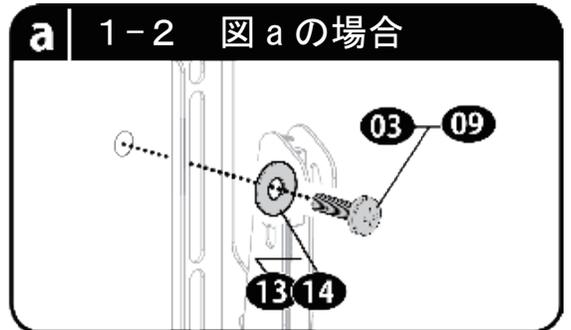
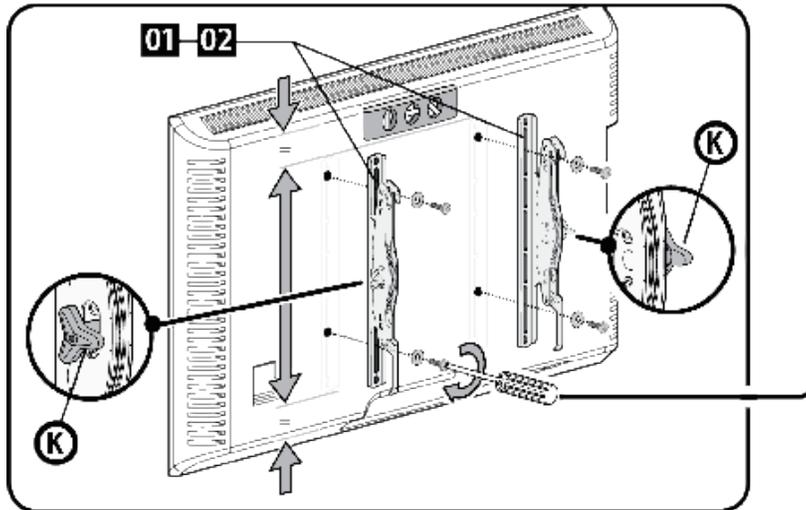


1-3 テレビへのブラケットの取り付け

⚠ 注意： テレビの画面を傷つけたり損傷することがありますので、作業を始める前に、次の注意を必ず守ってください。
作業場所にとがったものや硬いものが落ちていないかよく確認して、平たく何も無い場所で作業を行ってください。
やわらかいカーペットなどの保護材を敷いて、その上に壁掛をするテレビを画面を下にして置いてください。

水準器で水平を確認しながら、TV ブラケット [01][02] が、テレビの背面上下の中心になるように配置し、図のように 1-1、1-2 で選択したネジとワッシャーでネジ止めします。

ワッシャーは、ネジが M4 の場合にはワッシャー [13]、ネジが M6、M8 の場合にはワッシャー [14] を使用します。



STEP2 壁掛金具を壁面に取付ける

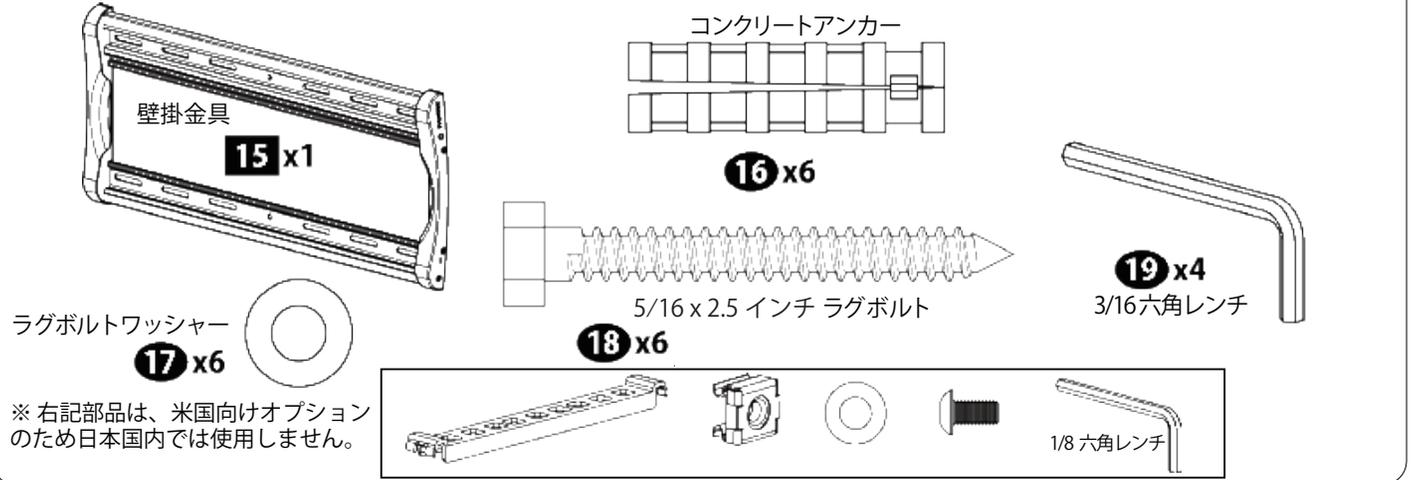
木柱壁に取り付ける場合は、6ページのSTEP 2Aに従って固定します。

コンクリート壁に取り付ける場合は、7ページのSTEP 2Bに従って固定します。

STEP 2で使用する部品類

警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

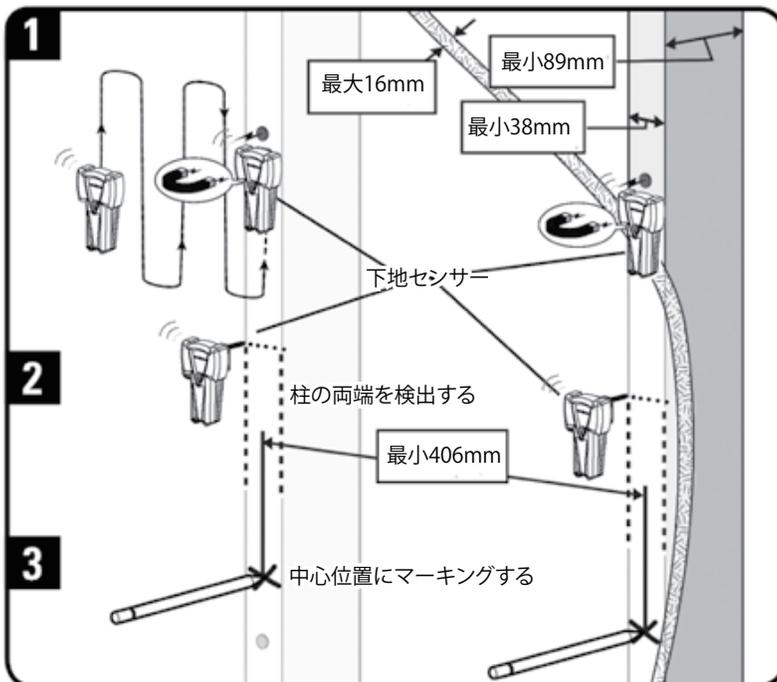


注記 : 付属の部品をすべて使用するわけではありません。

STEP 2 A 壁掛金具を取り付ける --- < 2本の木柱を利用した取付例 >

警告 : 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと、壁掛金具の総重量の5倍の重量を保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

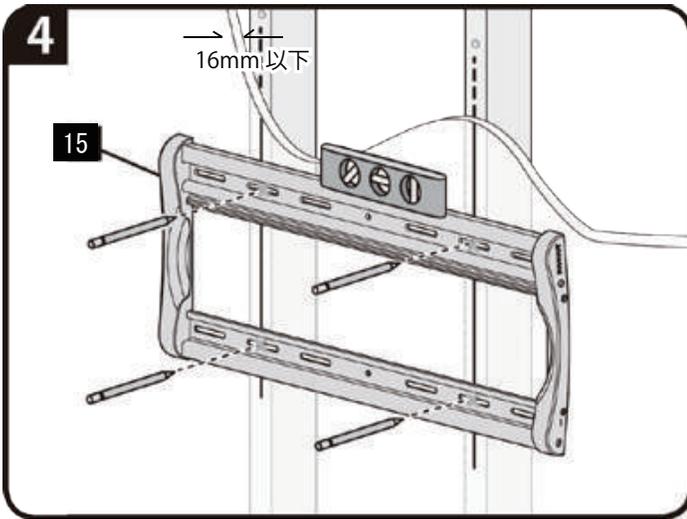
- 施工の条件** :
- ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm 以下にしてください。
 - ★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
 - ★ 柱と柱の間隔は、406mm 以上が必要です。
 - ★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。



注記:

下地センサー（木柱センサー）は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。下記の1～3は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従ってください。

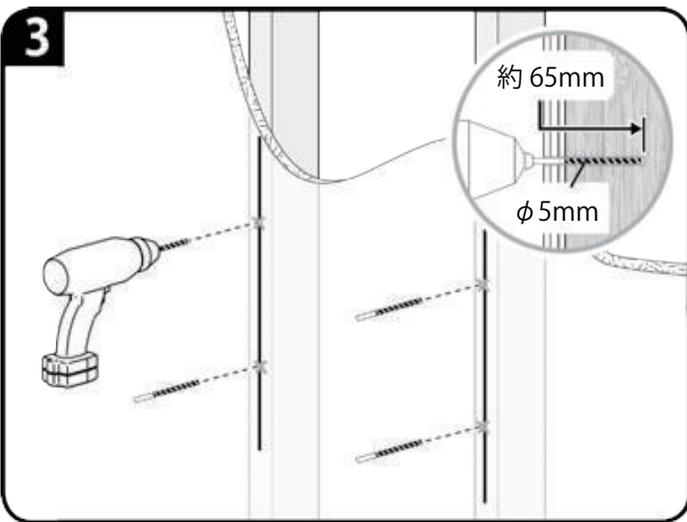
1. 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、右図の様に柱の位置を確認します。
2. 下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。
3. 二つのマーキング（両端）から柱の中心位置にマーキングを付けます。



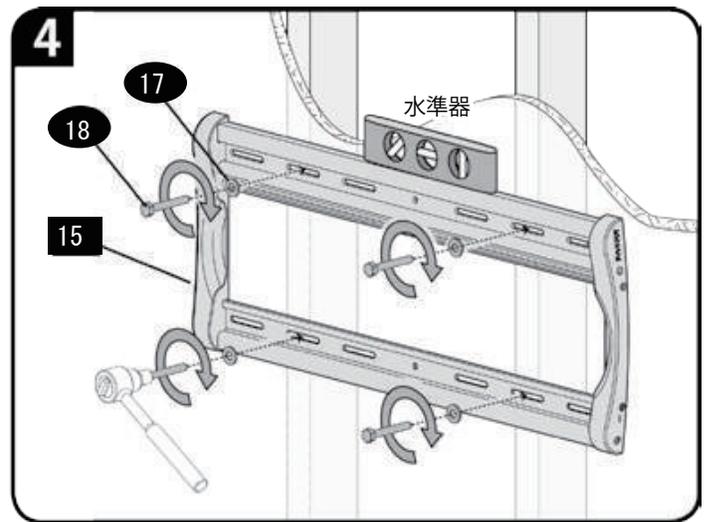
4. 壁掛金具 [15] を、ご希望の高さで仮に配置してください。このとき、取付穴の位置は図のように2本の柱の中心線上になるように配置します。図のように、本体の幅の広い方の棧を上にして市販の水準器で水平度を確認しながら、柱に押し付けて仮固定し取付け穴を柱の中心線上の位置に配置した状態で鉛筆でマーキングしてください。

重要: マーキングして下穴を開ける時は、必ず柱の中心線上でなければなりません。

注意: 木柱上の石膏ボードなどの化粧板の厚さは16mm以下にしてください。



5. 壁掛金具 [15] を一旦取除き、マーキングの位置にドリルで下穴を開けます。柱の下穴は、5mm径のドリルビットを使って、約65mmの深さに4箇所開けます。



6. 先ほど開けた下穴の位置に再び本体の幅の広い方の棧を上にしてあわせて固定し、市販の水準器で水平度を確認しながら、ラグボルト [18] とラグボルトワッシャー [17] で固定します。

注意: 本体固定ネジは締め付けすぎないで下さい。壁掛金具本体に引き込まれる程度とします。

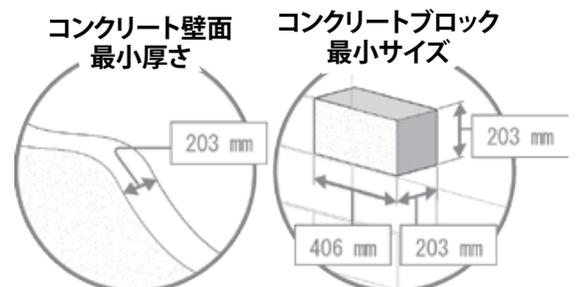
STEP 2 B

コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取り付け

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

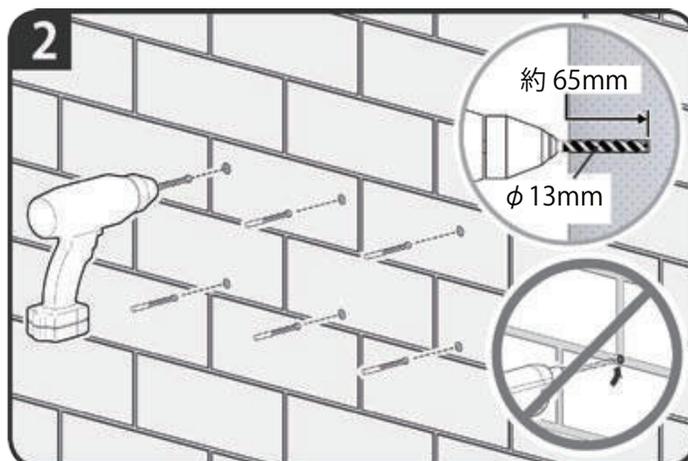
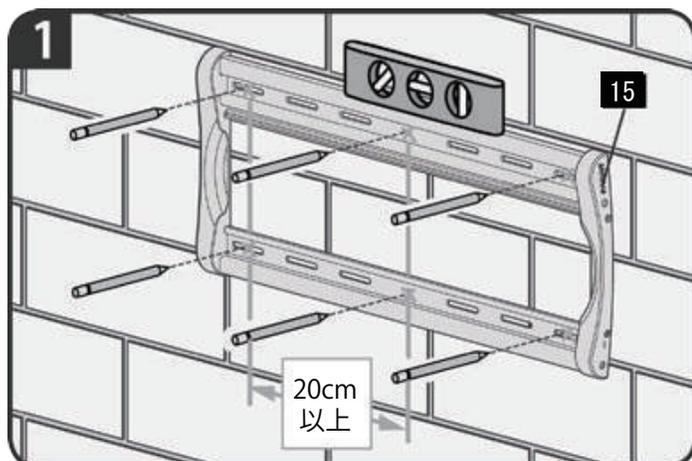
なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みのコンクリート壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

- 施工の条件:**
- ★ 壁掛金具[23] は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。
 - ★ コンクリート壁面の使用可能な最小の厚さは、203mm 必要です。
 - ★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。
(空洞のあるものには使用できません。)
 - ★ 水平方向のネジ穴の間隔は、406mm以上必要です。



1. 壁掛金具 [15] を、ご希望の高さで仮に配置してください。図のように、壁掛金具 [15] を市販の水準器で水平度を確認しながら、壁に押し付けて仮固定し壁掛金具 [15] の図の穴の位置 6 箇所鉛筆でマーキングしてください。このとき、横の間隔は 20cm 以上空けてください。
2. 次に壁掛金具 [15] を一旦取除き、マーキングの位置 6 箇所 13mm 径のコンクリート用ドリルビットを使って、約 65mm の深さに下穴を開けます。

! 注意：ブロック間のモルタル部分には、決して、マーキングをしたり、下穴を開けたりしないで下さい。

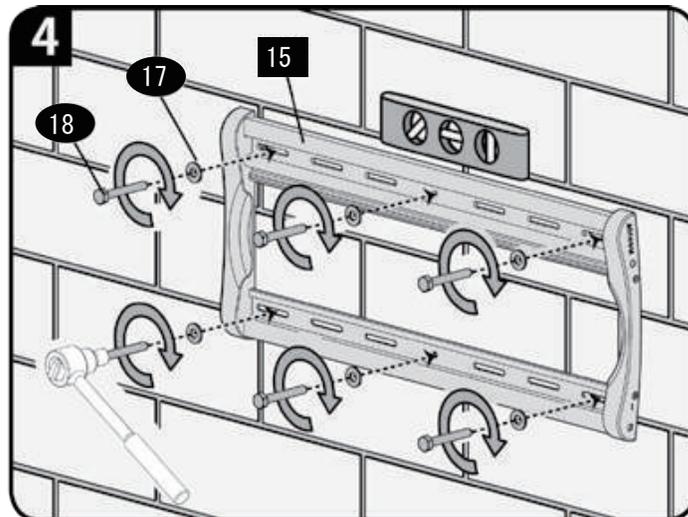
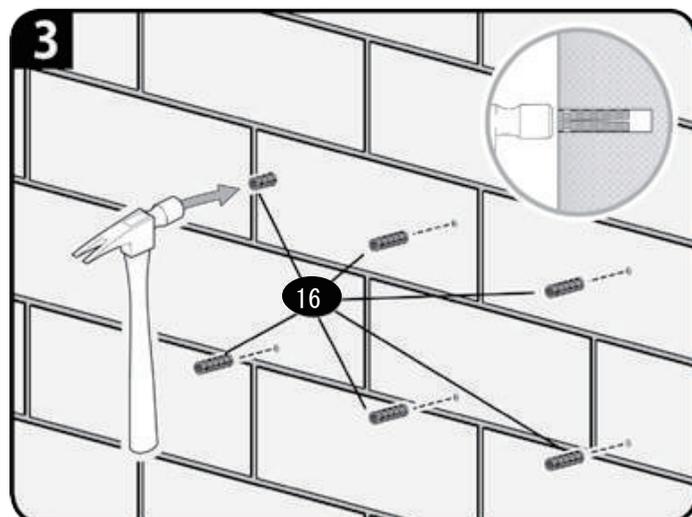


3. 各々 6 箇所の穴にコンクリートアンカー [16] を挿入します。

! 注意：コンクリートアンカー [16] は、コンクリート壁面と面一（つらいち）になるように最後まで打ち込んで下さい。

4. ラグボルト [18] とラグボルトワッシャー [17] を使って、壁掛金具 [15] 本体の幅の広い方の棧を上にして壁に取り付けます。

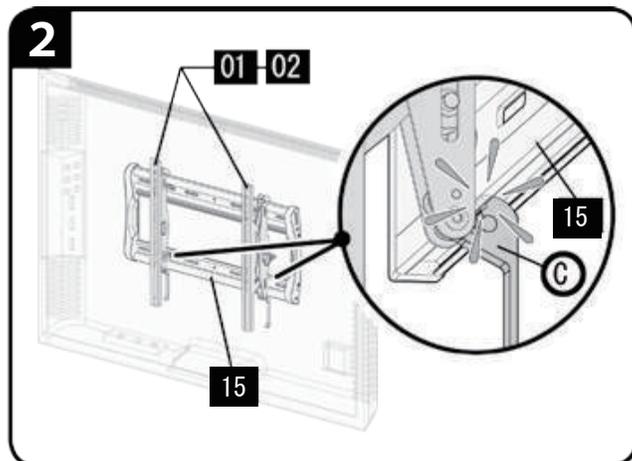
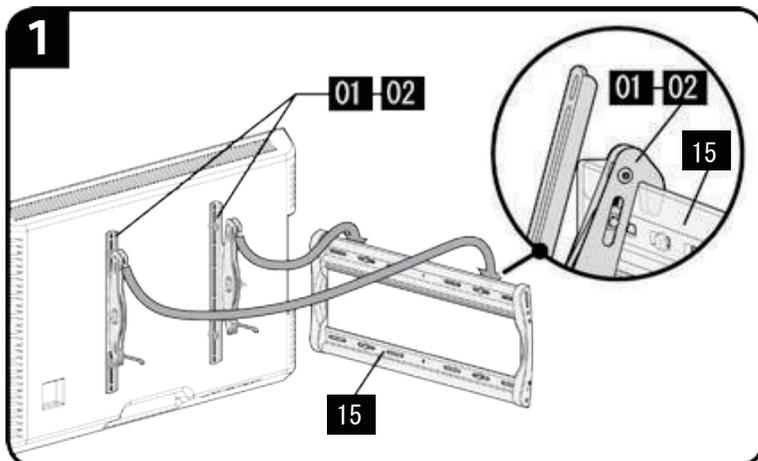
! 注意：本体固定ネジは締め付けすぎないで下さい。壁掛金具本体に引き込まれる程度とします。



STEP3 テレビを壁掛金具に取付ける

 **注意** 重量があります！この作業は二人以上で行って下さい。

1. 薄型テレビを持ち上げて、左右のTVブラケット [01][02] の上部のつめを、壁掛金具 [15] の上部に引っかけます。
2. 次に、テレビの底部を壁側に押し当てて、TVブラケット [01][02] のクリックスタンド [C] のロック部分が「カチッ」とロックするまでしっかりと押し当てます。

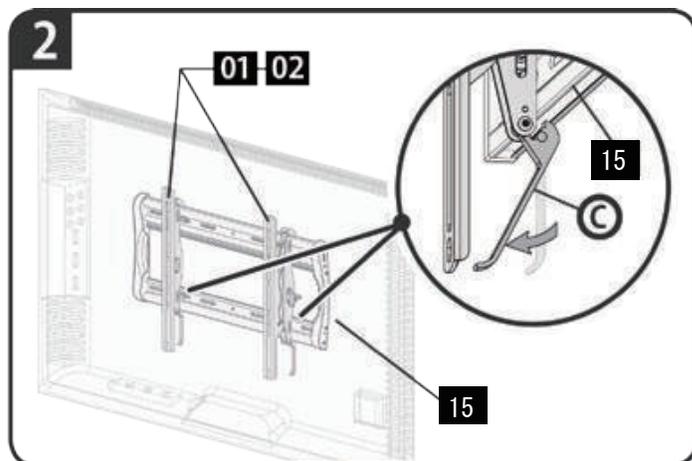
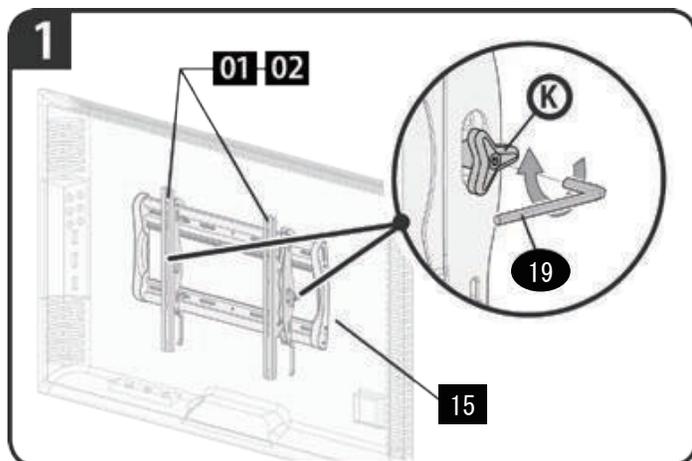


STEP4 ケーブル類の整理

1. ティルト機構部を固定するために、左右のTVブラケット [01][02] のノブ [K] を六角レンチ [19] でしっかりと締め付けて固定します。

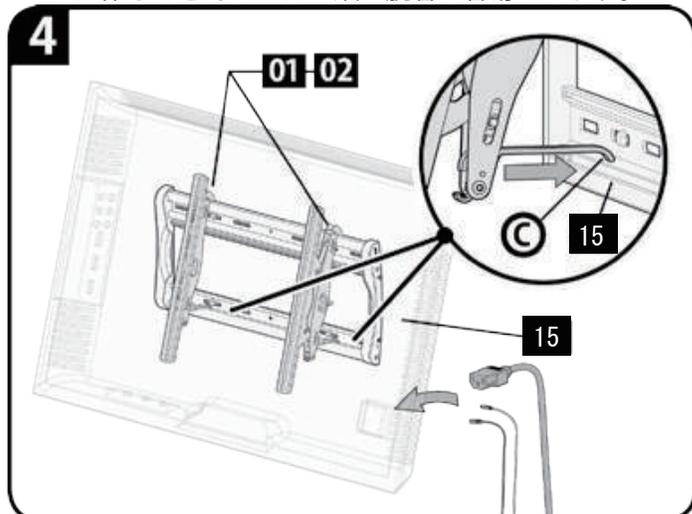
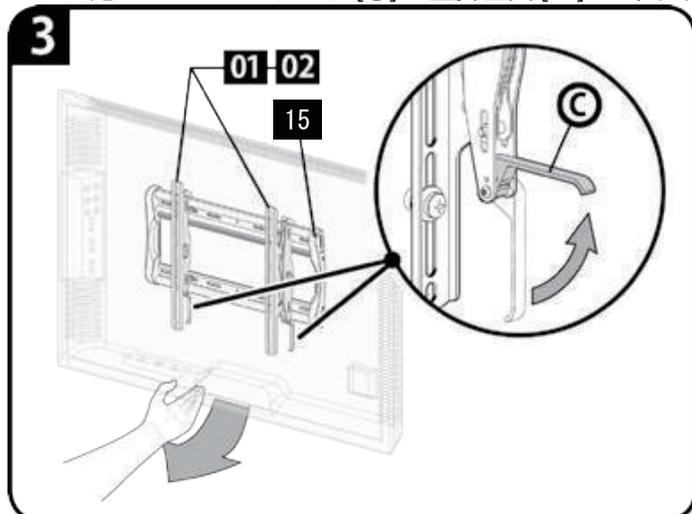
 **注意** ノブ「K」が緩んでいると作業中にテレビが急に傾き怪我をする恐れがありますので、しっかりと締め付けられていることを確認してください。

2. 図のように、左右のTVブラケット [01][02] のクリックスタンド [C] のレバーを起こして、ロックを解除します。

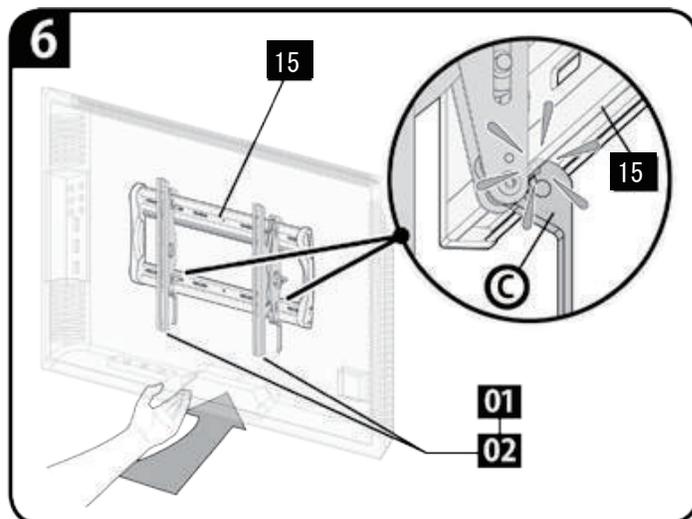
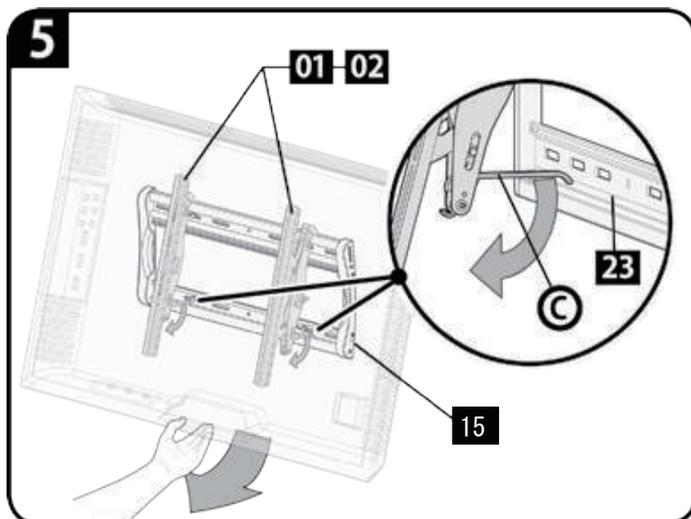


3. 図のように、テレビを少し持ち上げて、左右のTVブラケット [01][02] のクリックスタンド [C] のレバーを壁側に水平になるまで起こします。

4. 上記のクリックスタンド [C] を壁掛金具 [15] に当ててスペースを作ることでケーブル類の脱着を容易にします。

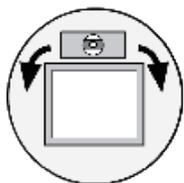


5. TV ブラケット [01][02] を収納するときは、テレビを少し持ち上げて、クリックスタンド [C] を垂直の位置に戻します。
4. 次に、テレビの底部を壁側に押し当てて、TV ブラケット [01][02] のクリックスタンド [C] のロック部分が「カチッ」とロックするまでしっかりと押し当てます。

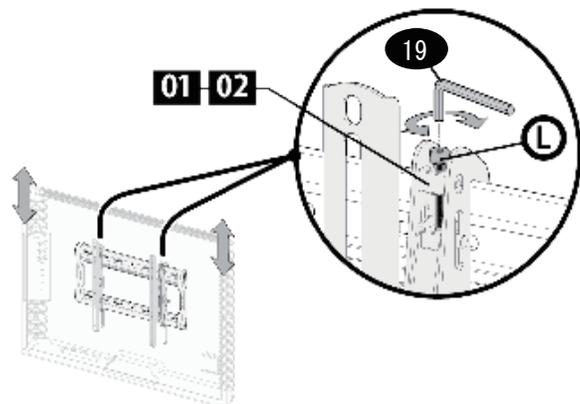


STEP 5 各部の調節

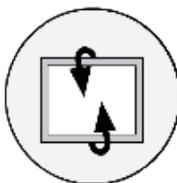
水平度調節



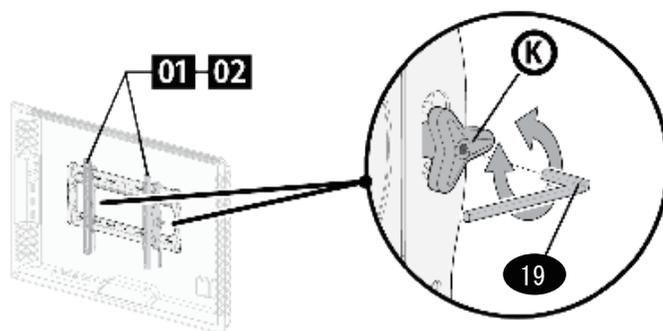
片側のTVブラケットで約 $\pm 2.5^\circ$ の水平度調節ができます。
水準器で水平を確認しながら、TV ブラケット [01][02] の調整ネジ [L] を六角レンチ [19] で調整してください。



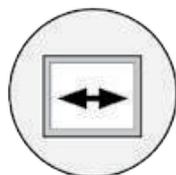
ティルトテンションの調節



ティルト機構の硬さの調節ができます。
TV ブラケット [01][02] の調整ノブ [K] を六角レンチ [19] で好みの硬さに調節してください。

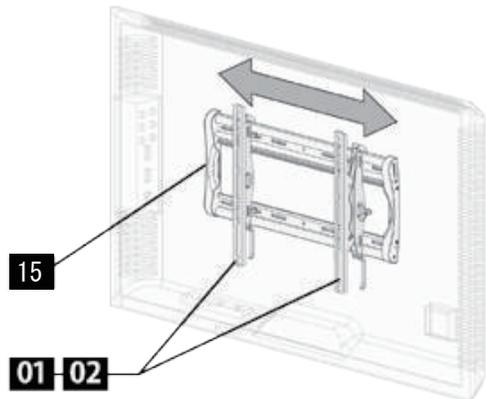


ラテラルシフト調節

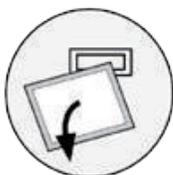


注意 重量があります！この作業は二人以上で行ってください。

壁掛金具 [15] の範囲内でテレビを軽い力で左右に水平移動できます。



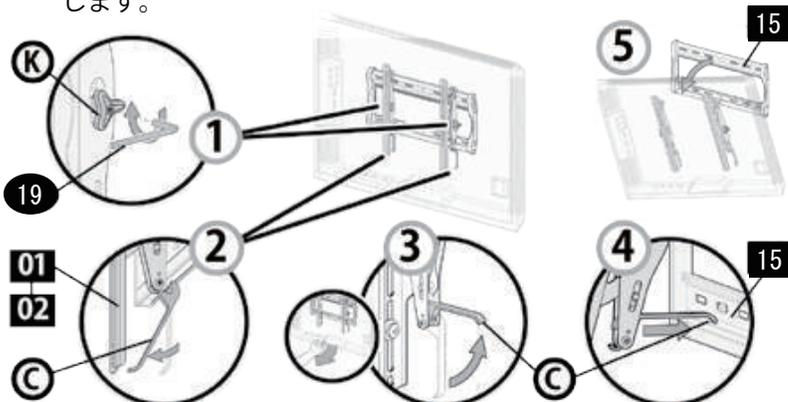
テレビの取り外し



注意

重量があります！この作業は二人以上で行ってください。

1. ティルトテンション調節ノブ [K] を動かないように、六角レンチ [19] でしっかりと締付けます。
2. クリックスタンド [C] を引上げてロックを解除します。
3. テレビの下側を少し引き、クリックスタンド [C] を押し込み水平にします。



4. クリックスタンド [C] を壁掛金具 [15] に当てておきます。
5. ケーブル類を取り外した後に、テレビを持ち上げて TV ブラケット [01][02] 上部のフック部分を壁掛金具 [15] からはずします。

外觀圖

單位：mm

